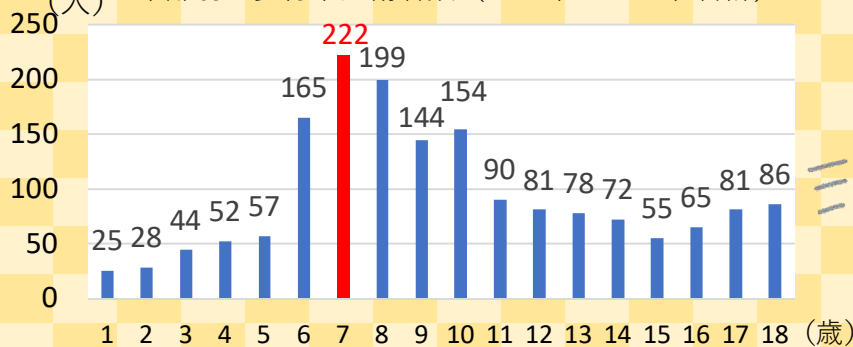


歩行中のこどもが危ない！

歩行中死傷者数は、7歳が最も多い！

歩行中に、交通事故で死傷した方を年齢別にみると、7歳が最も多いです。小学校へ入学したばかりの頃は、保護者と一緒に歩いていた道路も、登下校や友達との遊び等、一人で歩く機会が多くなります。特に、7歳児は交通の危険性の認識が十分ではなく、急な飛び出し等で交通事故に遭っていることが考えられます。

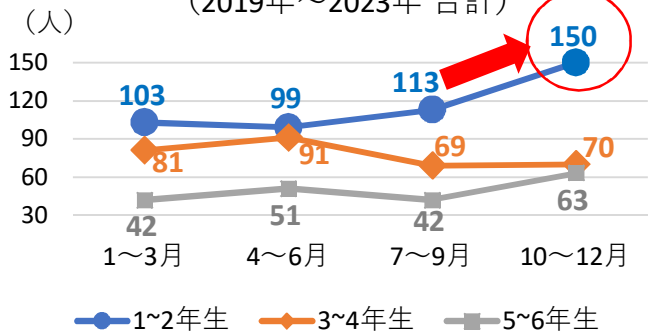
(人) 年齢別の歩行中死傷者数 (2019年～2023年 合計)



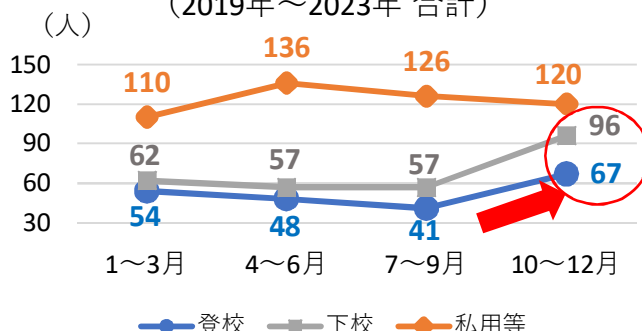
小学校1～2年生の歩行中の事故は、10月以降に急増！

小学校1～2年生の歩行中の事故は、10月以降に急増します。また、目的別では10月以降に学年を問わず、登下校中の事故が増加します。

学年別・小学生歩行中死傷者数 (2019年～2023年 合計)



目的別・小学生の歩行中死傷者数 (2019年～2023年 合計)



保護者の皆様へ

【YouTube千葉県警察公式チャンネル】

このチャンネルは、Google LCCのサービスを利用の下、千葉県警察本部総務部広報県民課が運用しています（アドレスは令和6年8月時点のものです。）。

危険!!その瞬間をドライブレコーダーは見ていた!



教えてシーボック第1話「とまる・みる・まつ」



- ・通学路や子どもたちが遊ぶときの経路を一緒に歩いて、交通量の多い場所、見通しの悪い場所などを子ども目線で確認し、安全な横断場所や方法をくり返し教えましょう。
- ・小学生に何らかの違反が認められた事故のうち、約8割が「飛び出し」でした。道路を渡るときの合い言葉「とまる・みる・まつ」を子どもたちが実践しているのかを確認しましょう。
- ・道路を歩く時のルール（信号を守る、横断歩道を渡る、見通しの悪い交差点や車の中から飛び出さないことなど）をくり返し教えましょう。

